

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	プログラミングロボットを動かそう
学年	小学校全学年
目標	試行錯誤しながら意欲的に iPad でプログラムをつくり、プログラミングに親しむことができる。
教材タイプ	ロボット
使用教材	プログラミングロボット「mBot 〈エムボット〉」
環境	2～4人で1台の mBot を使用
都道府県	奈良県
実施校	天理市立丹波市小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>・まず、「Makeblock」のアプリを使用し、ロボットを動かしました。どのように操作をすると、思い通りにロボットが動くのかを話し合いながら活動を進めました。机の周りや椅子の下など自分たちが決めたコースを通るように操作を工夫して動かしていました。</p>   <p>・高学年では、「mBlock Blockly」や「mBlock」のアプリを使用し、プログラミングエリアにブロックを並べてプログラムをつくる活動をしました。また、コースを設定しロボットをスタートからゴールに向かうにはどうすればいいのかグループで話し合いながらプログラムをつくる活動をしました。</p>  
成果と課題	グループでプログラムを何度も試行錯誤しながら意欲的にロボットを動かすことができた。しかし、「前に進む」「曲がる」などの限られたプログラムしか使うことができなかったので、もう少しじっくり操作する時間をとることができると、色々なプログラムの仕方で様々な操作をすることができたと思う。